

総合計画／実施計画書 兼 事業事業評価シート

事業期間 H20 ～ H22

担当部局	部局名	企画部
	課室名	秘書政策課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）		
基本施策ID	基本 施 策 名	
7 - 2 - 2	行政運営への市民参画機会の拡大を図る	
重点施策ID	重 点 施 策 名	
- - -		

2. 事業名等		
事業名	広聴事業	事業区分
細事業名		②
事業主体	市	①
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務	①
実施期間	平成 18 年度 ～ 平成 22 年度	根拠法規
各種の計画への反映（＝根拠計画）		事業ID
		08003

3. 事業の内容等		
事業の背景 協働社会を実現するためには、市の情報公開、情報開示の積極的な推進を図るなど、市民との信頼関係を強化するとともに、市民の行政やまちづくりなどへの参画機会の増大を図っていくことが重要である。	補助事業	名 称
		補助率
	起 債 の 類	①
		②
事業の目的及び対象		事業概要
【目的】 「声のひろば」事業など市民参加や意見提言、意見交換の機会を積極的に提供することで、開かれた行政を確立するとともに、お互いの信頼関係を築き協働のまちづくりを推進する。		・みんなの意見箱 … 各支所・本庁・HPに意見箱を設置する。 ・おでかけ市長室 … 市長が直接支所に出向き意見を聞く。 ・ふれあいミーティング … 市長が各種団体と意見交換を行う。 ・市民便利講座 … 市民が知りたいことなどについて管理職が説明を行う。
【対象】 市民		前年度の評価 評価結果に基づき見直した内容 E 維持

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)							
財源内訳	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予 算	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		24				
	計		24				
決 算	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		24				
	計		24				

5. 実績及び達成目標等		
過去3年間の事業実績と課題		
平成17年度	平成18年度	平成19年度
【実績】	【実績】	【実績】
	① みんなの意見箱63件 ② おでかけ市長室9回 ③ ふれあいミーティング 5 団体 ④ 市民便利講座12講座	① みんなの意見箱74件 ② おでかけ市長室11回 ③ ふれあいミーティング 11団体 ④ 市民便利講座18講座
課題		
平成17年度に行った市政座談会の参加者が少なかったため、平成18年度から2年間、意見が出しやすいように声のひろば事業を主に行ってきた。平成20年度も現状維持でいくか検討する。		
達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値		
活動指標	声のひろば事業開催回数（みんなの意見箱、おでかけ市長室、ふれあいミーティング）	
効率指標	前年度決算額＞当該年度決算額 ⇒ 平成21年度は、コスト評価（経済性、効率性、効果性）を実施する。	
成果指標	まちづくりに関する提案件数	
単 位	件	
年 度	H 17	H 18
種 別		件数
目標値		22
実績値		9
達成率		100.0%
備 考		

総合計画／実施計画書 事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局	部局名	企画部
	課室名	秘書政策課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	市民と行政による協働のまちづくりを進めるためには、広く市民から意見を求めたり意見交換をすることが必要である。				
行政の 関与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	4	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	市民と行政による協働のまちづくりを推進し行政運営を行うため、行政が実施する必要がある。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	行政座談会等、他の手段もあるが、平成17年度実施の行政座談会の参加者が少ないということで、平成18年7月から現在の事業を実施した。たくさんの意見を聞く上では効果的で現状維持でよいと思うが、より多くの市民に市の施策等を説明し理解を求めるためには、別の手段を考える必要がある。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	市民の質問等に答え説明することにより、行政への理解が得られる。また、苦情・要望などについては、約3割が実施または改善されている。				
事業の 予算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	1	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	現在のところ予算措置は必要ないが、実施方法を変えれば経費が発生する可能性がある。				
人 体 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	1名の人員は必要であるが、他の仕事との兼務は可能である。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	多様化する市民のニーズにこたえるため、広く市民から意見、提言を求めることは必要である。この「声のひろば」事業は、少人数で行うため意見が出やすく、市政座談会よりも意見者・意見数が多くなっている。今後は現状維持しながら別の手段も加え広聴事業を進めていく必要がある。				
その他、特記事項		事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。			
部 長		課 長		班 長	
				担当者	
				内線 2016 E-mail @bungo-ohno.jp	